

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アテクト
 コード番号 4241 URL <http://www.atect.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理ディヴィジョンリーダー
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

(氏名) 小高 得央
 (氏名) 飯野 磨
 配当支払開始予定日 未定

TEL 072-967-7000

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,666	△1.0	31	1.7	△18	—	△50	—
22年3月期第2四半期	1,684	△20.6	30	△70.4	13	△83.6	△49	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△15.17	—
22年3月期第2四半期	△14.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	4,545	1,516	32.8	446.78
22年3月期	4,386	1,614	36.4	479.37

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,489百万円 22年3月期 1,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	10.00	10.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,111	22.4	285	417.5	247	483.8	176	—	53.02

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有
新規 1社（社名 上海昂統快泰商貿有限公司）、除外 1社（社名
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年3月期2Q | 3,506,000株 | 22年3月期 | 3,506,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年3月期2Q | 172,097株 | 22年3月期 | 172,097株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年3月期2Q | 3,333,903株 | 22年3月期2Q | 3,333,903株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. (参考) 個別業績の概要	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社および子会社の構成

- ① (株)アテクト…当社、半導体資材事業、衛生検査器材事業
- ② (株)アテクトコア…半導体資材事業、韓国
- ③ トライアル(株)…ポリマー微粒子事業、平成20年1月子会社化
- ④ (株)ダイブラ…プラスチック造形事業、平成20年4月子会社化
- ⑤ アテクト・プログレッシヴ・アンド・イノヴェイティヴ・マニュファクチャリング(株)…P I M事業、平成22年1月設立
- ⑥ 上海昂統快泰商貿有限公司…衛生検査器材事業、中国、平成22年8月設立

当社グループの当第2四半期累計期間の売上高は前年同期比1.0%減の1,666百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益31百万円（前年同期営業利益30百万円）、経常損失は営業外費用において急激な円高により為替差損26百万円の計上により18百万円（前年同期経常利益13百万円）、四半期純損失は特別損失において資産除去債務会計基準適用に伴い1百万円の計上および子会社の四半期純損失の計上により、50百万円（前年同期四半期純損失49百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

① 半導体資材事業

半導体資材事業につきましては、昨年半ば頃より回復してきた需要に支えられ、第1四半期までは、業績は堅調に推移してきましたが、当第2四半期に入り、フラットパネルディスプレイ市場での在庫調整や欧州経済不安による需要の伸び悩み等があり売上が減少しました。

以上の結果、半導体資材事業の売上高は前年同期比5.3%減の815百万円となりました。

② 衛生検査器材事業

衛生検査器材事業につきましては、食品の微生物検査市場での培地やシャーレの低価格競争が展開される中、当社独自のダイレクト・マーケティングシステムの強化により、顧客数は、前期比5%増となり、約11,000社まで顧客数を獲得しております。今後の熾烈な競争に対応出来る下地は整理されております。

以上の結果、衛生検査器材事業の売上高は前年同期比0.2%減の687百万円となりました。

③ プラスチック造形事業

プラスチック造形事業につきましては、半導体製造設備関連部材の受注が回復維持基調にあり、この事業の主力子会社である株式会社ダイブラにおいては、第2四半期の3ヶ月においては黒字に転換しております。しかし、第1四半期のマイナスを埋めるまでには至りませんでした。

以上の結果、プラスチック造形事業の売上高は前年同期比34.5%増の145百万円となりました。

④ ポリマー微粒子事業

ポリマー微粒子事業につきましては、日本国内の自動車業界における研究開発費の支出抑制等の引き締めが強い状況であります。売上高は9月から回復傾向にあり、現在は中国市場、欧州市場を視野に入れた営業活動を展開しており、一層の受注拡大が期待されます。

以上の結果、ポリマー微粒子事業の売上高は前年同期比38.8%減の16百万円となりました。

⑤ P I M事業

P I M（パウダー・インジェクション・モールディング）事業につきましては、エネルギー関連や自動車部品の開発が進みつつあり、先行投資を早期に回収すべく技術開発を推し進めている段階であります。

以上の結果、P I M事業の売上高は7百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ3.6%増の4,545百万円となりました。
総資産の主な増加要因は、流動資産において「現金及び預金」が161百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ9.3%増の3,029百万円となりました。
負債の主な増加要因は、「短期借入金」が194百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ6.1%減の1,516百万円となりました。
純資産の主な減少要因は、「利益剰余金」が83百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年4月28日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

平成22年8月に中国において、上海昂統快泰商貿有限公司を設立したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これに伴う損益に与える影響額は軽微のため記載は省略しております。

2. 表示方法の変更

①前第2四半期連結累計期間において、区分掲記しておりました「受取配当金」は、当第2四半期連結累計期間では、営業外収益の「その他」に含めております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取配当金」は22千円であります。

②「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	969,333	807,721
受取手形及び売掛金	525,513	657,533
商品及び製品	219,024	204,620
仕掛品	23,303	33,635
原材料及び貯蔵品	196,780	178,950
繰延税金資産	21,553	39,948
その他	51,210	54,194
貸倒引当金	△1,717	△2,180
流動資産合計	2,005,002	1,974,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	707,258	741,153
機械装置及び運搬具（純額）	416,888	405,807
土地	918,094	918,094
建設仮勘定	267,014	97,954
その他	34,859	25,213
有形固定資産合計	2,344,115	2,188,224
無形固定資産		
のれん	102,967	123,536
その他	22,106	23,550
無形固定資産合計	125,074	147,086
投資その他の資産		
投資有価証券	1,466	1,862
繰延税金資産	9,365	9,466
その他	62,074	66,806
貸倒引当金	△1,576	△1,772
投資その他の資産合計	71,328	76,362
固定資産合計	2,540,518	2,411,673
資産合計	4,545,520	4,386,097

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	434,051	427,401
短期借入金	844,100	649,260
1年内返済予定の長期借入金	635,653	599,002
1年内償還予定の社債	20,000	—
未払金	68,453	85,103
未払法人税等	18,108	91,042
賞与引当金	39,014	45,778
設備関係支払手形	25,559	13,386
その他	91,727	100,613
流動負債合計	2,176,667	2,011,586
固定負債		
社債	178,169	97,763
長期借入金	490,982	512,575
リース債務	170,831	139,783
その他	12,442	10,278
固定負債合計	852,425	760,400
負債合計	3,029,093	2,771,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,645	729,645
資本剰余金	649,645	649,645
利益剰余金	322,376	406,282
自己株式	△99,406	△99,406
株主資本合計	1,602,259	1,686,165
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	82	317
為替換算調整勘定	△112,833	△88,303
評価・換算差額等合計	△112,750	△87,986
新株予約権	26,917	15,931
純資産合計	1,516,426	1,614,110
負債純資産合計	4,545,520	4,386,097

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,684,047	1,666,410
売上原価	1,149,539	1,097,417
売上総利益	534,507	568,992
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	140,889	149,562
賞与引当金繰入額	16,866	23,777
貸倒引当金繰入額	308	—
その他	345,698	364,383
販売費及び一般管理費合計	503,762	537,723
営業利益	30,745	31,269
営業外収益		
受取利息	111	1,278
受取配当金	24	—
貸倒引当金戻入額	—	511
法人税等還付加算金	1,602	—
その他	2,229	2,920
営業外収益合計	3,967	4,710
営業外費用		
支払利息	16,049	14,532
社債利息	—	607
減価償却費	—	5,429
為替差損	3,674	26,956
その他	1,093	7,243
営業外費用合計	20,816	54,769
経常利益又は経常損失(△)	13,895	△18,789
特別利益		
固定資産売却益	209	—
特別利益合計	209	—
特別損失		
固定資産除却損	10,631	423
固定資産売却損	156	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,288
特別損失合計	10,787	1,712
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,317	△20,501
法人税、住民税及び事業税	22,311	11,407
法人税等調整額	30,250	18,657
法人税等合計	52,561	30,064
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△50,566
四半期純損失(△)	△49,244	△50,566

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）
該当事項はありません。

4. (参考) 個別業績の概要

1. 平成23年3月期第2四半期の個別業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,503	△2.8	94	△30.3	51	△57.1	23	△60.6
22年3月期第2四半期	1,546	△14.7	136	△22.5	120	△28.3	58	△31.4

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第2四半期	6	94	6	90
22年3月期第2四半期	17	58	17	57

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円		円	銭
23年3月期第2四半期	5,173	2,229	42.6	660	67		
22年3月期	4,904	2,229	45.1	663	81		

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,202百万円 22年3月期 2,213百万円

2. 平成23年3月期の個別業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	3,091	△0.4	154	△37.3	153	△34.7	82	△31.7	24	89